

前回会議(8月3日)以降の取組状況

	委員からのご意見・ご提案	取組状況など (R5年1月末時点)
1	SNSはリーチ数を重視すること	SNS研修等を実施し、SNSの方向性や意識する指標について担当者で確認しました。
2	定住意向につながる魅力をどのように発信するか の検討、コンテンツ作りが必要 —様々ある魅力を要点を絞って、全庁的な取組になるよう	「子育て応援プロジェクト」として、子育て政策室等と連携し、子育て世代へ向けたPRを実施しました。
3	葉加瀬太郎さんの楽曲の活用促進等、既に持っている素材をさらに活かす取組	楽曲等の素材をイベントや動画作成などで適宜活用中。
4	発信手段の1つとして、インフルエンサーの活用 —市のもつ魅力と各室課の施策を1つのチャンネルだけで発信するのは難しい、属性の合った人に発信してもらうのが効果的、学生との連携も可能	SNSの活用について、市民から市の魅力が発信される仕掛けづくり(ハッシュタグキャンペーン、学生による発信など)を検討中。
5	地域のエリア分けて発信力を高める	8参照
6	市で活動する団体のPR力向上(発信方法の講座や手法を公開する等)	現時点では対応案なし。
7	東京都の公園の事例を参考に、人の集まる場所や情報発信拠点を生み出せないか —公園の改良などの機会を捉えて	9参照
8	神崎川などでイベントを実施 —イベント等は市民が一緒になって実施しなければ続かない	地域の特徴を活かしたイベントが実施されるよう、シティプロモーション促進補助金制度を実施。補助金交付イベントについては、PRなどの支援も併せて実施。
9	市民のことを考えた地に足がついた取組をした方が愛着がわく。 もっと良いまちにするには、何が必要かという意見を学生や市民に聞く。 —市民の利便性、快適性の向上	全職員を対象に、シティプロモーションの意義や、各職場の一人一人がシティプロモーションの意識をもって業務を実施する重要性についての理解向上を図るため、シティプロモーション研修を実施。
10	資料には、取組の内容だけでなく、その取組のターゲットと何のためにやるのかという目的を明記する。	今回の資料から反映